



学校だより

令和4年度小川中学校
令和5年1月20日 発行

NO, 10 文責:小林 浩一

<1月5日(木) 校長講話より>

新しい年が始まりました。本年もよろしくお願ひいたします。寒い日が続いていますが、体調はいかがでしょう。

さて、今年の干支は「卯」です。「兎(うさぎ)の登り坂」ということわざがあります。うさぎは、前足に比べて後ろ足が長く、坂を登るのが得意である事から、このことわざは、よい状況に恵まれ、力を発揮することを例えています。普通ならば坂を登るのは平地に行くより困難です。でも、ウサギにとっては登り坂こそ自分の力を発揮できます。皆さんも、自分の持っている個性、よさをもっと積極的に受け止め、生かしていく1年に！そして、長所を生かし、夢を実現させる1年に！うさぎのように、夢へびょん！飛躍の1年になることを願っています。

それでは、これを見てください。(漢詩です)

勝人者有力 自勝者強 (人に勝つ者は力有り 自ら勝つ者は強し。)

意味は、「人を打ち負かす人はその人よりは確かに強い。でも自分自身の弱い心に勝てる人こそ本当に強い人である」という意味です。

これは、中国の春秋時代における哲学者である老子という方の言葉です。老子は、自分の考え方をまとめた本に、この言葉があります。そこで、今日は「自ら勝つ者は強し」というお話をしたいと思います。

皆さんは、自分の弱い気持ちに負けそうになったことはありませんか。「ぼくは勉強ができないからだめだ」「私は、運動ができないからだめだ」「私は何をやってもうまくできない」「自分ばかりが不幸だ」

そんな時、周囲の人が言うことを聞かずふてくされたり、勉強や仕事を投げ出したり、遊びに夢中になったりしたことはありませんか。そんな弱い気持ちになった時には、この「自ら勝つ者は強し」という言葉をぜひ思い出して欲しいと思います。本当に強い人とは力で相手を打ち負かす人ではなく、自分の弱い気持ちに勝てる人なんだということに気づいて欲しいと願います。

一・二年生の皆さんは、あと三ヶ月で学年が一つ進み、勉強も運動もレベルアップし、いろんな事から逃げ出したくなることもあるかもしれません。三年生の皆さんはもうすぐ受験ですね。そして、その後それぞれの道へと歩いていきます。今までと違った環境で生活する中で、競争社会の荒波を少しずつ味わっていくものと思います。でも、ほんとうの意味での競争相手とはいったい誰なのでしょう。これまでの話を聞きおわかりですね。

皆さんは、これから長い人生を生き抜く必要があります。さぼり、自分勝手、わがまま、弱虫などに打ち勝つ強い心を育てていくことが大事です。そのためにはまず自分をしっかり見つめ、自分の性格や特長などをよく知る事です。そして、自分のよい所をいっそう伸ばし、悪い所を直していく努力が望まれます。これからの人生は自分との戦いです。人生の競争相手は決して他の人ではなく自分自身であること、そして自分に勝ってこそ本当に強くたくましい人であることをしっかり心に留めておいて欲しいと願います。

さあ、卒業式までの登校日数は48日です。1月は18日 2月は19日 そして3月は11日です。時間があつという間に過ぎていく3ヶ月間です。「自ら勝つ者は強し」を意識し、今日から力強くスタートを切りましょう。以上で終わります。



【校長講話の様子から】

1月の行事より

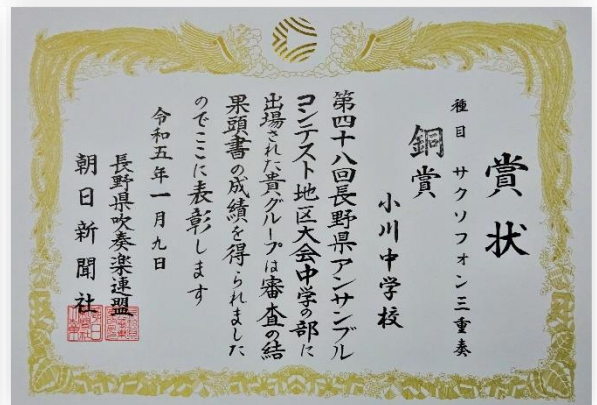
<1月6日（金）吹奏楽部アンサンブルコンテスト壮行会>

1月9日（月）に第48回長野県アンサンブルコンテスト地区大会中学生の部（千曲市あんずホール）に出場する吹奏楽部の壮行会がありました。評議・生活委員会の運営、応援、そして西沢副会長より壮行の言葉があり、部長の北山さんからは自分たちの目指す演奏や意気込みについて力強いあいさつがありました。その後演奏の披露があり（演奏曲は「人生のメリーゴーランド」（ハウルの動く城より作曲：久石譲さん）三人の息のあった素晴らしい演奏でした。

コンテストの結果は、小川中学校 サクソフォン三重奏、「銅賞」でした。顧問の先生からは、当日は壮行会の時以上の演奏ができたと聞きました。吹奏楽部のみなさん、顧問の先生方ご苦労様でした。コンクールで得たことを今後に生かして行ってください。



【壮行会での3名での演奏の様子】



【アンサンブルコンテスト賞状】

<1月10日（火）書き初めの展示（各学年）>

今年も学年の廊下に各学年の書き初めが展示されました。今回も素晴らしい作品が多く、つい見入ってしまいます。しかし例年だと学年毎に書く文字は大体決まっていたような気がするのですが、「魍魅魍魎」、「弱肉強食」など自分で選んだであろうものもあり、文字の巧さだけでなく、作者がなぜその言葉を選んだのか考えながら鑑賞することもできたので、とても楽しい展示でした。三学年には「健康管理」「合格祈願」という書もあって、願いが込められているなど感じました。



【書き初めの展示風景】

<1月16日（月）新入生説明会（1学年）>

新入生説明会がありました。1年生のみなさんが、小川小の6年生とその保護者の方々に学校生活、生徒会、学習、行事、部活動の5つの担当に分かれて説明してくれました。練習を重ねてきた成果として、とても聞きやすく、内容も簡潔でわかりやすかったです。

その後6年生は各学年の授業参観を行いました。とても静かに、真面目に参観をしていました。この会を通して、中学校への不安が少しでも減り、入学が楽しみになってくれるとよいですね。

1年生のみなさん、準備から当日の説明までご苦労様でした。



【説明会の様子】

<1月17日（火）第一回生徒会 1月18日（水）第一回生徒集会>

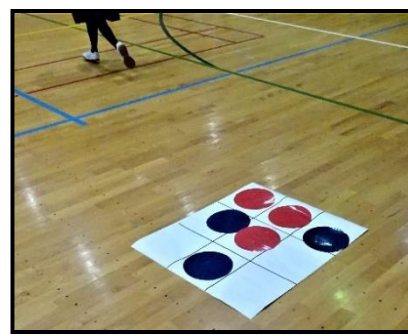
第66期2学年生徒会役員の運営によって第1回生徒会委員会が行われました。各委員会の様子を見てまわると、正副委員長さんが計画した次第にそって進行していました。堂々とした司会進行でしたが、1、2年生が新たな委員会となったためか、少し緊張感を感じました。そして自己紹介、委員としての抱負、仕事内容の確認と進む中で、所々で3年生がフォローしてくれる姿があり、さすがに3年生だなと思いました。第1回の生徒会は順調なスタートを切れたと思います。



【新役員による生徒会運営の様子】

次の日に行われた第1回生徒集会では、評議・生活委員会より「新年の抱負」企画についての説明が委員長さんよりありました。廊下に展示されている書き初めの下に新年の決意を掲示して、今年目標を確認して、よい一年を過ごせるようにとのことでした。生徒会公報「Wakataka」には書き初めに込めた想いや願いを記入するともあったので、なぜその文字を選んだのかも分かるので、それも楽しみです。

その後、「会話が弾むビンゴゲーム」を委員会対抗で行いました。3×3の枠にチームのマーカを先に3つ並べた方が勝ちというルールでしたが、いざ始めてみると焦りからなのか、その枠に置けば勝ちなのに置かなかったり、相手チームが2つ並んでいるのに阻止できなかつたりと意外ととっさの判断力が試されるゲームでした。どのチームも楽しそうだったので、狙いの「つながり」は一つできたと思います。準備してくれた役員のみなさんありがとうございました。



【レクレーションを楽しむ様子】

<1月17日（木）音楽集会（各学年）>

音楽集会では、マスクの着用、換気、分散しての練習など、感染対策を行って実施しています。17日の練習では、3年生を送る会と卒業式の式歌を練習しました。1、2年生が「旅立ちの日に・・・」、3年生が「桜の雨」をパート毎にわかれて練習していました。

3年生の入試も近く、全体であわせた合唱練習ができにくい現状ですが、2ヶ月後に迫った送る会、卒業式に向けて、よい合唱になるように練習に励んでいます。「旅立ちの日に」を聞くと卒業式が間近であることを実感します。



【パート練習を行う】

< 1月19日（木）AED講習会（2学年） >

2学年では、日本赤十字社の方を2名講師に招き、AED講習会を行いました。心肺停止から4分間で脳に障害が出るので、救急車が到着するまでのおおむね10分間の心肺蘇生法が大事であることを学びました。実際に人形を使って胸部圧迫の練習から行いました。正しく圧迫すると「カチカチ」という音がするのですが、コツと力が必要で、最初は胸部圧迫がうまくいかない人もいました。それでも練習を繰り返すうちに正しい方法を身に付けていました。事故を起こさない、けがをしないことが第一ですが、いざといきのため救命措置の方法は身に付けておきたいと思いました。



【胸部圧迫を30回連続で行う】

<お知らせ>

【スマートフォンやSNS等のトラブルから子どもから守る取り組みについて】

長野上水内中学校長会では、スマートフォンやSNSのトラブルから子どもを守るための取り組みとして、「長野上水内中学校申し合わせ」を作成しています。保護者のみなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

【学校での取組】

- ① 日頃からSNSに関する指導や啓発活動を児童・生徒・保護者に向けて継続して行い、「犯罪者にならない 被害をうけない」ための注意喚起を行っていきます。具体的な方法としては、情報モラル講演会等、学習の機会を設けたり、アンケート調査を行ったりします。
- ② 事案（不適切画像送信等）を確認した場合、保護者への連絡とともに、状況に応じて教育委員会や警察等に相談します。その上で、教育委員会や警察等の助言を生かし、以後の対応を進めます。事案の重大性・緊急性により、保護者に相談する前に警察に相談する場合があります。
- ③ 保護者の方と共に、事実確認、画像等の保存・削除を行い、必要な指導を行います。
- ④ 事案が他校にまたがる場合は、学校間で連絡をとり合いながら対応します。またSNS等への投稿者が不明など、事案によっては警察の協力を依頼することがあります。

【家庭での取組】

- ① 現在のお子さんのSNSの利用状況を詳しく確認してください。また、以後も定期的に確認をしてください。（内容・相手・画像等 発信内容だけでなく、受信内容も確認願います）
- ② フィルタリングの設定、利用時間や利用場所など、ネット利用の約束を再確認してください。その上で、「使わない、使わせない」のも良い選択です。
- ③ 保護者の方も、SNSについて理解を深めてください。SNSの利便性の裏に潜む危険性やどのような犯罪（被害・加害）につながるのか等を知ってください。特に、保護者のクレジットカード情報の流用による課金のトラブル等にも留意してください。
- ④ 不安や心配がありましたら早めにご相談ください。学校はもちろん、警察や公的機関の相談窓口もありますのでご利用ください。

現在、小川中学校ではSNSやスマートフォンによるトラブル等は一切ありませんが、上記申し送り事項がありますので、ご確認ください。もし、心配なことがありましたら、中学校までご連絡ください。

小川中学校 TEL 026-269-2053